



# オアシス

第 28 号

令和3年

3.1

SARS-CoV-2

MN908947 29,903bases

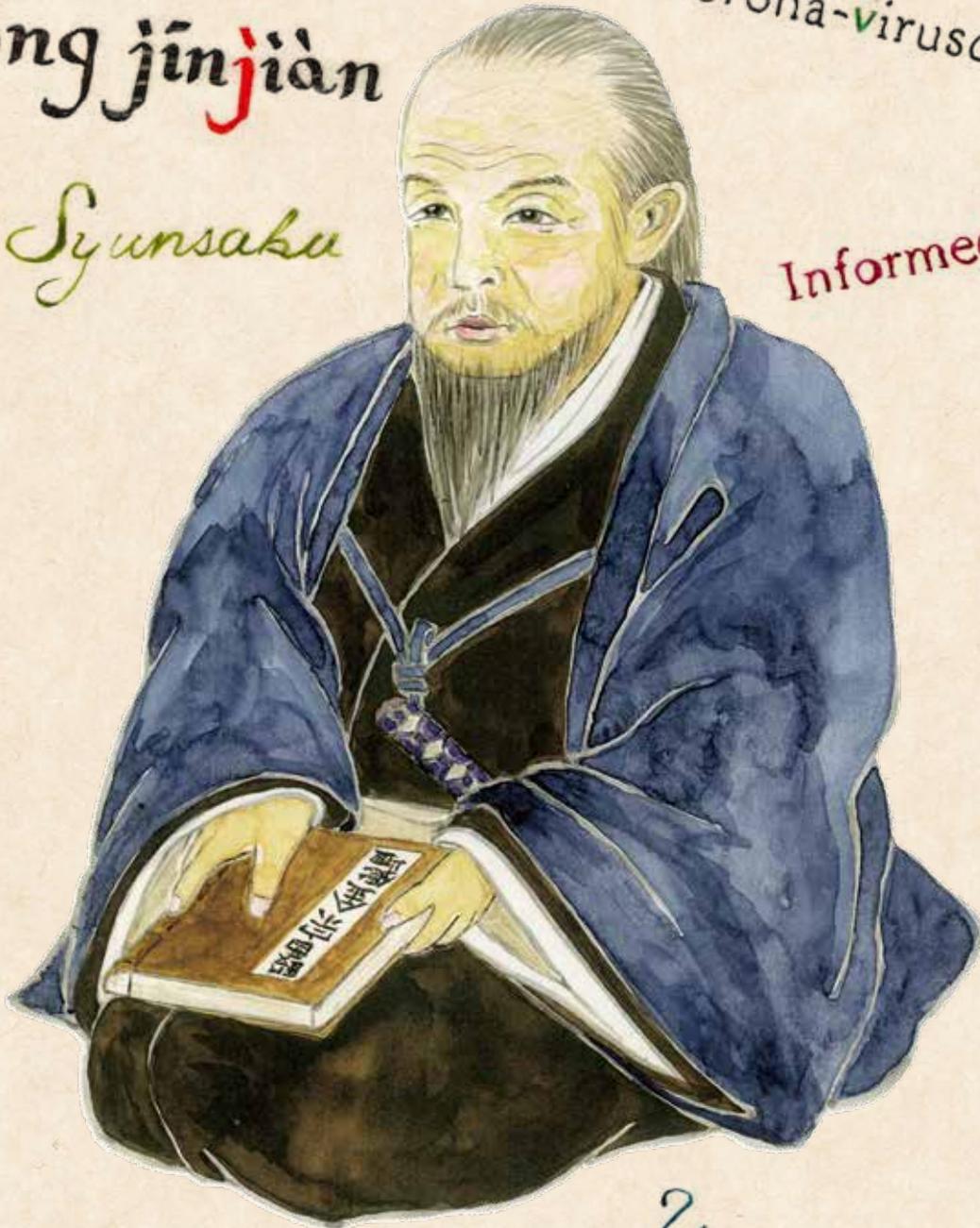
*Yizōng jīnjiàn*

Corona-virusdisease-19

*Ogata Syunsaku*

Informed consent

痘症  
求  
順  
辨



聖  
醫  
治  
未  
病

*Kitasato Shibasaburo*  
yersinid pestis

*Umeno Shinbichi*  
lyssdvirus genus

## 特集 新型コロナウイルスと向き合うには

新型コロナは依然猛威を振るい、世界の医療をはじめ政治、経済、文化、あらゆるものに影響を与えています。私たちの生活は今迄と違う形を強いられるようになりました。

こうした疫病や災害によって日常が妨げられた時、普段何気なく生活していることが何より有難いということにやっと気付かされます。

日本の古い文献に残る記述からもこうしたことが繰り返し起こっていたことが分かります。それまで無かった未知の感染症は免疫力を持たない者にとって非常に脅威でした。例えば天然痘は仏教伝来の頃大陸からもたらされたそうです。

致死率も高く多くの人々に恐れられていました。

わが国で天然痘の予防は、秋月藩の藩医緒方春朔により初めて成功しました。その後、より安全な牛痘法による種痘を推進する道筋を作り、近代医療へ大きく貢献したことは郷土の誇りとして広げていくべきだと思います。

今まさに新型コロナという脅威にさらされている中で、一日も早くこれに打ち勝つ手立てを考えなければなりません。

今回の特集は、新型コロナから自分たちの身を守るために、何を考えどうするべきかを取り上げてみたいと思います。

### 新型コロナによる影響

子ども達は、新型コロナにより、これまでに経験したことのないような学校生活、家庭生活を送ることになり、とまどいと不安が多く生まれたように感じます。長期の休暇と学校再開後の急ぎ足の学習進度、相次ぐ学校行事の中止等により子ども達を取り巻く生活は大きく変化しました。



### 長期休暇で変化した家庭生活

新型コロナウイルスの影響で休校が長引き、子ども達は一日の大半を家で過ごす事になりました。友達と一緒に遊ぶことも出来ず、ゲームやスマホに多くの時間を費やす子どもが多くなり、学校が再開

しても体力不足の子どもが増える原因にもなりました。また「学校に通う生活」

が無くなったことは子ども達が「朝起きて学校に通う」「学校で学んだり遊んだりする」など今まで当たり前

に過ごしていた生活リズムを大きく崩す原因にもなりました。学校再開後に学校に通えなくな

った子ども、学校生活に馴染めない子どもが例年より多く見受けられる事も含め、自粛生活が子どもに与えた影響は親にとって

心配のタネになっています。



## 変化した学校生活

学校は再開しても、運動会、文化祭、合唱コンクール等の「密になる行事」は変更を余儀なくされ、学校行事を楽しみにしている子ども達には、戸惑いが広がりました。また学習の遅れを取り戻すために、授業は急ぎ足になり、子ども達には大きな負担になりました。

部活動の多くは集団行動であるため、以前に比べると練習時間の短縮で接触時間をさけるような形に変化し、今までと同じ様に活発な活動が出来ない状況は現在も続いています。



## 中1の子をもつ母の感想

緊急事態宣言を受けて突然の休校。3月の卒業まで、最後の小学校生活の思い出を作る時間が突然奪われてしまいました。子どもは学校が休みになるのはうれしい反面、中学校になると別れてしまう友だちにもう会えなくなるというさみしさもあり、複雑な気持ちを味わっているようでした。楽しみに出し物を練習していた謝恩会も中止、卒業式は、当日の朝授与式を練習してそのまま本番を迎え、それでも式ができたことに感謝しました。

長い春休みの後、中学校の入学式も中止になり、登校初日は、教室の自席に配布された教科書と宿題をもらうだけでした。その後も何度か宿題を持参しては次の宿題をもらうことになりました。学校に行けない時間が長かった分、早く毎日学校に行きたいという気持ちが募り、今では学校生活が当たり前のことではないことに気づき、感謝の気持ちが芽生えたようです。



## 私たちに今できること

新型コロナがいつ収束かが分からない状況で、今後も私たちは新型コロナと向き合い続けることとなります。ではどのように向き合えばよいのでしょうか。

例えば、「外に出かけたいけど、家で過ごさないといけない」と、自宅で過ごす時間が増えている今の状況にストレスを感じている方も多いと思います。そのような生活が続く中では、ストレスをいかに減らすかが大切です。「自宅で過ごす時間」を利用してゆっくり本を読んだり新しい趣味を始めてみたりと、各自がそれぞれに合った時間の過ごし方を見つければ「外に出られない」というストレスも多少は解消されると思います。



また、何よりも大切なのは新型コロナから身を守るために「**こまめな手洗い**」「**アルコール消毒**」「**マスクを着用して安全な距離を保つ**」など基本的な予防を徹底することです。みなさんの周りにいる大切な人達を危険にさらさないためにも、まずは自分自身を守ってください。新型コロナを正しく理解して、新型コロナと向き合っていきましょう。

## 世界保健機関(WHO)は親が心掛けるべき6カ条を公表しました。 コロナ禍で子ども達と接するヒントになるでしょう。

### 1 子どもと1対1の時間

学校閉鎖は、子どもと多くの時間を過ごす良い機会でもあります。子どもと1対1の時間は自由で楽しいもの。それが子どもにとって、愛され、守られ、自分が大切な存在であると感じられる時間になります。

年齢に合わせた時間

- 小さな子どもとはお絵かき
- 小学生とは踊ったり歌ったり
- 中高生とは一緒に好きな料理を作る



### 4 もし「悪い子」になったら

子どもは時として「悪い子」になります。それは、眠かったり、空腹だったり、怖がっていたり、一人ぼっちで勉強しているのであれば当然です。家にこもりっきりなら、なおさら親を困らせることもあるでしょう。

- 大声で叱りそうになったとき、ひと呼吸おいて子ども達に接しましょう



### 2 いつも前向きに

子どもが言うことを聞かないとき、前向きでいるのは難しいことです。たいていの場合、「やめなさい!」と叱ってしまうことでしょう。ところが、私たちがポジティブになって物事をきちんと伝え、それが守られたら褒めるようにした方が子ども達は言うことを聞くものなのです。



- ポジティブに伝えることを意識しましょう

### 5 落ち着いて、 ストレスと向き合おう

今は我慢の時です。自分自身も健康でいることで子どもをサポートすることができます。



- 一人で抱え込まない
- 休息を取る
- 子ども達の声を聞く

### 3 ルーティンを作る

新型コロナウイルス感染症のまん延により、仕事、家庭、学校生活といった日常が崩れました。これは子ども達・親たちの不安につながります。新しいルーティンを作りましょう。

- 毎日運動する時間など新しい習慣をつくりましょう



### 6 新型コロナウイルス 感染症について話そう

進んで話をしましょう。子ども達は既に何か聞いているかもしれませんが、感染症から身を守るためにも、正確な情報を話すようにしましょう。いつも身近にいる親だからこそできることです。

- 子どもが何を知っているか、子どもの声に耳を傾けましょう



新型コロナに対して最前線で活動してくださっている医療従事者の方々への感謝を忘れず、子どもも大人も一人ひとりが今出来ることを考え、みんなで乗り越えましょう!



子どもを見守るサポートタクシーは、犯罪や事故を目撃した時に警察へ通報するほか、動く「子ども110番の家」のような役割を果たし、犯罪被害の未然防止と安全確保に寄与しようとするものです。小学校で防犯教室がある際には、警察に同行し啓発活動を行っています。

**\* 保護者の方へ \***

子どもたちの健やかな成長を願い、次のような活動を行っています。

- 1. 日頃から子どもたちの様子に気を配ります。**  
 運転中や待機中、街中の子どもたちの様子に気を配り、変わった様子はないか注意します。
- 2. 不審者等出没の情報が入った場合は、無線で情報を共有します。**
  - ①全車両に情報が入る ②全車警戒体制を取る
  - ③情報収集する ④子どもたちへの声かけをする
- 3. 子どもから救助を求められた場合に対応します。**
  - (1)不審者と遭遇した子どもから助けを求められた時など、犯罪の危害を受ける危険性がある場合  
 →ご家族や学校、警察へ通報するなど必要な連絡をします。
  - (2)子どもがおびえたり、恐怖で落ち着きをなくしたり心が不安定な場合や不審者が近辺にまだ潜んでいると思われる場合  
 →タクシー車内での一時保護を行います。
  - (3)警察やご家族へ連絡を取った後、警察、家族からの要請がある場合  
 →指示された場所等、安全な場所への輸送等を行います。

**【朝倉タクシー協会】**

矢野タクシー(株)・(株)甘木観光バス(タクシー事業部)  
 ひまわりタクシー(有)・(有)朝田タクシー  
 小石原観光タクシー(株)・(有)宮原タクシー  
 浮羽交通(株)・合同会社東峰(東峰タクシー)  
 朝倉警察署・青少年育成市町村民会議朝倉地区協議会

**朝倉市青少年育成市民会議では賛助会員を募集しています。**

**未来の朝倉市を担う子ども達をあなたの手で**

朝倉市青少年育成市民会議では、活動を財政面でサポートしていただく賛助会員を募集しています。朝倉市の子ども達をいきいきと健やかに育てるための活動にご参加ください。それぞれの立場で、得意の分野で、さまざまな形で子ども達を見つめ、支えてください。

**入会の手続き**

会費の納入によって、自動的に会員名簿に登録されます。下記の口座に納入いただくか市民会議事務局に直接ご持参ください。

**【銀行振込みの場合】**

朝倉市青少年育成市民会議  
 筑前あさくら農業協同組合 甘木中央支店  
 普通預金口座番号 5321182

**ご協力いただく会費の年額**

賛助会員(個人)	1□	1,000円
賛助会員(団体)	1□	3,000円
賛助会員(法人)	1□	10,000円
特別賛助会員(法人)	1□	50,000円

団体・法人の賛助会員には市民会議だより「オアシス」をお届けします。また市民会議の活動の折に触れ、賛助会員であることの周知を行うとともに、県民会議の顕彰に推薦されることがあります。

ご不明な点などありましたら、下記事務局までお問い合わせ下さい。  
 (e-mailでも可能です)  
 danjo@city.asakura.lg.jp



**● ありがとうございます ●**

(賛助会員、敬称略、順不同)

- 【団体・法人】(株)四ヶ所、福田地区区会長会、福田コミュニティ協議会常任委員会、三奈木地区民生委員児童委員協議会、医療法人かつき会香月病院
- 【個人】梶原 真、別府 稻子  
 (令和元年12月1日～令和2年12月31日時点)

# 地区協議会

Jyumonji / Nanryo / Akizuki / Amagi  
Tateishi / Hiramatu / Haki

## 十文字中学校区 楽しい茶会体験

平成11年、金川公民館(現コミュニティセンター)が、新築されて茶室が出来たのを機に、茶道同好会を結成し、月1回のサークル活動を始めました。地域の人達や、子ども達にも茶会の体験を広めようと文化祭の他、保育所の年長児や金川小学校の6年生の子ども達を招いて茶会をしています。

日頃はペットボトルのお茶を飲むことが多い子ども達です。茶会で、本格的に抹茶を頂くという初めての体験に緊張している様子も感じられますが、お茶を飲んだ後は嬉しそうに「ああ、おいしかった!」と言ってくれます。日本のお茶の本当の味を知ること、茶室で心を穏やかにしてお菓子やお茶を頂く雰囲気を体験すること、茶室での礼儀を知ることなど、貴重な学びの場になっていると信じています。子ども時代のいい思い出になるようにこれからも続けていきたいと思っています。



## 比良松中学校区 ポーセラーツ教室

10月2日(金)に朝倉東小学校、11月20日(金)に大福小学校で、5・6年生を対象にポーセラーツ教室を行いました。ポーセラーツとは、白いマグカップやお皿に自分の好きなイラストシールでデザインして絵付けをしていくものです。たくさんのイラストシールの中から好きなシールを選び、イラストの配置を工夫しながら、世界でただ一つの自分だけのマグカップやお皿を作りました。最後に焼き付けをしてもらい、自分の作品を手にしたときはみんなの笑顔がこぼれました。この事業は比良松中学校区青少年育成協議会(朝倉地域コミュニティ協議会青少年育成部会)の「小学生の心の事業」として取り組んだものです。



朝倉東小5年生



朝倉東小6年生



大福小5年生



大福小6年生

このコーナーでは7つの地区協議会の取り組みや地域で活動する青少年について紹介していきます。

# HOT LINE

## 立石地区 立石スポーツ少年団

立石スポーツ少年団はバレーボールクラブ、立石ソフトクラブ、立石剣道、立石ミニバスケットボールクラブの4団体あり、子ども達の成長の手助けの一環として、スポーツを通じ、心身共に健全でたくましい子どもの育成を目指しています。また、例年夏休みには団員や保護者による美化活動を行っています。



今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで通りの練習や試合が出来ませんが、ソフトクラブ、ミニバスケットボール（男女ともに）、バレーボールクラブは、地区大会で優勝し福岡県大会へ出場するなど、子ども達は限られた中で力を発揮し頑張っています。今後の活躍が期待されます！



「スポ少美化活動」の様子

## 南陵中学校区 馬田少年環境パトロール隊

馬田地区コミュニティ協議会では、平成7年3月に「少年環境パトロール隊」を結成し、25年にわたり周辺地域の環境美化活動を行っています。

馬田地区は自然環境に恵まれてはいるものの、当時は空き缶などの不法投棄が跡を絶ちませんでした。なんとかこの状況に歯止めをかけたいとの思いから、児童による環境美化活動ができないか関係者へ働きかけを行ったところ、この「少年環境パトロール隊」が結成されることとなりました。

馬田小学校の4～6年生を対象に隊員を募集し、毎月第2土曜日に馬田地区の8行政区を順番に巡回しています。隊員と一緒に地区の子ども達と保護者の方、小学校の先生、区会長や民生委員、千代の里の皆さんにも活動に参加していただいています。また毎年夏休み期間中には野外体験学習会を行っています。

今年度は新型コロナウイルスの影響で年度当初の活動が中止となり、例年に比べ活動回数が少なくなりましたが15名の隊員をはじめ参加された方々は、熱心にまた楽しく美化活動をされています。この活動が隊員にとって「環境美化」だけにとどまらず、世界で起きている様々な環境問題を自分のこととして感じてもらえるきっかけになればと思っています。



## ご存じですか「児童の権利に関する条約」

1989年の国際連合総会で採択され、我が国では1994年に発効した「児童の権利に関する条約」は、18歳未満のすべての子どもの権利や自由を尊重し、子どもに対する保護と援助を図り、その健やかな成長や幸せのためにつくられたものです。

子どもの権利を守りましょう。

### 【条約の主な内容】

- 子どもは教育を受けることや遊ぶことが認められるべきこと
- 子どもは自由に考え、信じることが認められるべきこと
- 家庭環境に恵まれない子どもに保護と援助が与えられるべきこと
- 子どもはあらゆる差別や暴力、虐待などの不当な扱いから守られるべきこと



### おすすめの一冊

#### 「ここ 食卓から始まる生教育」

著者：内田美智子、佐藤剛史著

「人はそこにいるだけで価値があります。人が幸せに生きていくためには、心と身体の健康が必要です。子どもたちの生きる力を養うのは、先に死にゆく大人の責任です。ずっとずっと子どもたちの側にいられるわけではないのですから」著者の言葉が、子どもをもつ親の心にぐっと響きます。

この本を読むと、生きることは食べることとつながり、家庭の食卓が子どもの身体と心を育てることの大切さを感じます。今は子どもが思春期や反抗期であって、思いどおりに子育てできてない方もいらっしゃるかもしれませんが、子どもが生まれてきてくれた日のことを思い出し、どのように子どもと向き合えばよいのか改めて考えてみるヒントが得られる1冊だと思います。



### 編集後記

今回は、全国で猛威を振るっている新型コロナウイルスに関しての特集を組みました。

昨年、1月に初めて日本でコロナウイルスの感染者が確認され、あっという間に全国に拡散してしまいました。一時期は終息の兆しが見えたのですが、一向に収まる気配がありません。

市内各コミュニティ協議会の行事や研修等も中止を余儀なくされました。そのような中、子ども達の生活環境は大きく変化し、3月から5月にかけて学校の臨時休業に始まり、部活動の自粛、運動会・体育祭等の学校行事の短縮や中止もありました。

7月の夏休みを迎えた頃から少しずつ以前のような子ども達の元気な声が聞こえてきたように感じられます。家庭から又、学校や地域から子ども達の笑顔や笑い声が戻ってくるようにするためにも、新しい生活様式を実践して行きましょう。

更にワクチンや治療薬の開発が進み、安心して生活のできる社会に早く戻れるように、私たち一人ひとりが意識を高め、自分自身、家族、職場、周りの人等、地域を新型コロナウイルス感染から守るためにもしっかりと行動することが大事だと思います。

偏見や差別的な言動で人権侵害が起きないように心掛け、早くマスクをしないうで外出できる日々が訪れることを切に願っています。